

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	建築施工実習 1	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名	施工専攻		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	2級建築施工管理技士学科テキスト（2020年度）						
担当教員情報							
担当教員	赤石 辰夫 他			実務経験の有無・職種		有・施工管理 一級建築施工管理技士	
学習目的							
建築の各種国家資格試験のうち施工分野の試験に対応した項目について、実習や現場見学を交えながら体験的に理解を深める。また、施工管理のうち初歩的な仮設計画が出来ることや施工図（実施設計図）の作図方法を身に付けることが学習目的である。							
到達目標							
仮囲い・足場の知識と、必要な仮設機材・建設機械についての知識を身につける。また、施工図の写図を行うことで作図手順や必要な寸法の定め方を学び、施工管理業務の一端を知ることにより興味を深めることが到達目標である。							
教育方法等							
授業概要	基本的に自分で考えて施工に関する各種の計画やそれに応じた指示が出せるようになるため、個人ごとに作業をこなして作品にすることを積み重ねる。また、工事現場の見学を行い、実際の工事現場に触れて作業の流れや職人の動き方、安全に対する対策などについて体感し講義で再確認する。						
注意点	実際の工事に関する情報を用いて講義が進むので、図面や現場の所在地・設計内容などについて守秘義務を守ること。資料の取り扱いにも注意を払い、無くしたり内容が流出することの無いように取り扱うこと。また現場見学の際は、事故が起きないように安全に注意し、第三者とのトラブルを避けるために必ず指示に従うこと。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	課題の成果物について総合的に評価する				
	レポート	20%	現場見学の理解度を確認するために実施する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1 回	仮設計画 仮囲い		単管、クランプ、ジョイント、ベース、パネルゲート				
2 回	地盤調査、建築測量		ボーリング、サウンディング、標準貫入試験、平板差異化試験、縄張り、遣り方、墨出し				
3 回	仮設計画 足場		本足場（単管および枠組み）、一側足場、くさび緊結式足場				
4 回	建設機械計画		揚重計画、掘削計画、運搬計画				
5 回	現場見学 1		工事現場見学（仮設計画）				
6 回	総合仮設計画		仮囲い、パネルゲート、揚重計画、現場事務所、ストックヤード				
7 回	土工事・山留工事・地業		根切り、排水、床付け、砂利地業、親杭横矢板、鋼矢板、SMW、水平切梁、腹起し				
8 回	施工図(躯体図 1)		鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事				
9 回	施工図(躯体図 2)		躯体図の理解と作図手順				
1 0 回	施工図(躯体図 3)		躯体図の理解と作図手順				
1 1 回	現場見学 2		工事現場の見学（躯体工事）				
1 2 回	施工図(天井伏図 1)		天井インサート、軽量鉄骨下地、石膏ボード下地、仕上げ工事など				
1 3 回	施工図(天井伏図 2)		天井伏図の理解と作図手順				
1 4 回	施工図(天井伏図 3)		天井伏図の理解と作図手順				
1 5 回	工事計画		施工計画、工程計画、品質計画、安全計画概要				